

3班

“仲良し仲間の暑気払い”

38期いきがい大学熊谷学園の仲間と別れてから早や3カ月が過ぎた。

我ら3班の仲良し仲間はいつも元気で、7月16日全員参加の「暑気払い」が開かれた。

3カ月位で何が懐かしいの？

一年間一緒に暮らした仲のような感じで、「刎頸（ふんけい）の交わり」という言葉どおり、首を切られても悔いが無いような人間関係でした。

場所は、熊谷市内の「居酒屋湊や」、お酒もすすむ楽しい料理の数々。

宴会の雰囲気最高！

しかし乱れは無し。

まるで高校生の同窓会のよう。

本来、暑気払いとは、「暑い夏の日に冷たい食べ物や体を冷やす効果のある食物等で体に溜まった熱気を取り除こうとする、いわば暑さを打ち払うという事」だそうだ。

土曜の丑の日に、鰻を食べる習慣も平賀源内が発案したという説があるが、これは、商売がうまくいかない鰻屋が夏に売れない鰻を何とか売るため、源内に相談したところ、「本日丑の日」と書いて店先に張ることを勧めた。

すると、丑の日に「う」の字のつくものを食べると夏負けしないという風習があったことから鰻屋は大変繁盛したというのである。

湊やでは鰻こそ出なかったが、暑い夏に向かって皆さん頑張れそうですよ。

（7月16日文責 3班笠原）



8月3日（土）

埼玉県農林公園で夏祭りのイベントに参加。スイカ割りを担当しました。結構大人が楽しんでいました。

